

インマヌエル中目黒キリスト教会

2017年2月5日聖日礼拝

ペテロの手紙第1 連講(10)

「互いに仕え合う」

ペテロの手紙第1

4章1節～11節

竿代照夫牧師

聖書朗読

新約聖書

ペテロの手紙第 1

4 章 1 節 ~ 11 節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています

第二版の聖書は 419 ページ

第三版の聖書は 456 ページ

- 1 このように、キリストは肉体において苦しみを受けられたのですから、あなたがたも同じ心構えで自分自身を武装しなさい。肉体において苦しみを受けた人は、罪とのかかわりを断ちました。
- 2 こうしてあなたがたは、地上の残された時を、もはや人間の欲望のためではなく、神のみこころのために過ごすようになるのです。
- 3 あなたがたは、異邦人たちがしたいと

思っていることを行い、好色、情欲、酔酒、遊興、宴会騒ぎ、忌むべき偶像礼拝などにふけたものですが、それは過ぎ去った時で、もう十分です。

- 4 彼らは、あなたがたが自分たちといっしょに度を過ぎた放蕩に走らないので不思議に思い、また悪口を言います。
- 5 彼らは、生きている人々をも死んだ人々をも、すぐにもさばこうとしている方に対し、申し開きをしなければなりません。

- 6 というのは、死んだ人々にも福音が宣べ伝えられていたのですが、それはその人々が肉体においては人間としてさばきを受けるが、霊においては神によって生きるためでした。
- 7 万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。
- 8 何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。

9 つぶやかないで、互いに親切にもてなし合いなさい。

10 それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。

11 語る人があれば、神のことばにふさわしく語り、奉仕する人があれば、神が豊かに備えてくださる力によって、それにふさわしく奉仕しなさい。それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを

9 つぶやかないで、互いに親切にもてなし合いなさい。

10 それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。

11 語る人があれば、神のことばにふさわしく語り、奉仕する人があれば、神が豊かに備えてくださる力によって、それにふさわしく奉仕しなさい。それは、すべ

てのことに、イエス・キリストを
通して神があがめられるためです。栄光
と支配が世々限りなくキリストにあります
ように。アーメン。

説教

ペテロの手紙第1（10）

「互いに仕え合う」

ペテロの手紙第1

4章1節～11節

竿代照夫牧師

主テキスト

「それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。」

(1 ペテロ 4 : 10)

はじめに（前回の復習）

- ・ 「心の中でキリストを主とあがめる」
（ 3 : 15 ）
- ・ 4章前半
二つの「終わり」を意識して

A.ピア・プレッシャーに打ち勝つ

当時のクリスチャンの状況

ピア・プレッシャーを強く感じていた

1.罪のしがらみから卒業(1～3節)

- ・ 試練を乗り越えよう
- ・ 罪とのかかわりを捨てよう
- ・ 過去のでたらめを卒業しよう

2.ピア・プレッシャーを超越する (4～6節)

- ・「ピア」は、外れる人間を攻撃する
- ・「ピア」の将来を考えよ

B.互いに仕え合う（7～11節）

1．祈りに集中しよう（7節）

2．兄弟愛を実践しよう（8～9節）

- ・熱心に愛し合おう（ヨハネ13:34）

[ヨハネ13:34]

あなたがたに新しい戒めを与えましょう。
互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

- ・喜んでもてなそう

3. 賜物を生かして仕え合おう

(1 0 ~ 1 1 節)

- 賜物（カリスマ）とは
恵みによって与えられた能力
- 賜物の管理者としての私たち
神への報告義務
- 賜物には様々なものがある
「語る賜物」 「奉仕の賜物」 その他
- 賜物活用の目的（互いに仕え合うため）
- 神が崇められることが究極の目的

終わりに

自分の賜物が
何かをよく考え、
主のために
それを
フル活用しよう